

1月4日(木曜日) 枯れマツ、枯れコナラの除伐

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、鈴木明

計 8名】



「ドングリの森」の枯れたコナラを除伐した。

コナラは蔓でがんじがらめになっていたため、ある程度、蔓を切ってからチェーンソーを使うことにしたのだが、思ったところに倒れずいつも以上に神経を使う作業となった。除伐した木を処理をする際には、足元が不安定

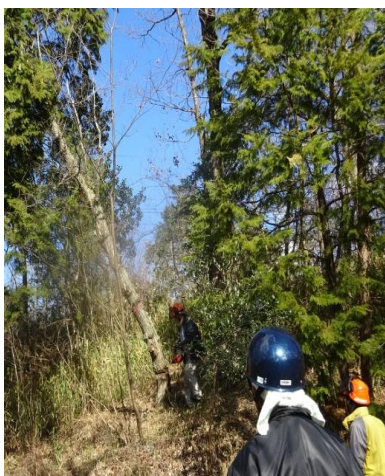
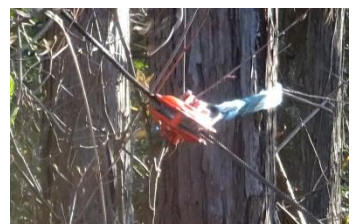
なうえに、絡んだ蔓に邪魔をされ、浮いた状態の木を玉切りしていくということもあり、かなりの時間を要した。

1月11日(木曜日) チルホールを使って除伐

【参加者：池本、梶川、芝田香、鈴木哲、中、山本、計 6名】

初めに6番東屋のすぐ近くの枯れマツを除伐。屋根に落ちないようにチルホールで引っ張り除伐。その後、スイレン池に向かう遊歩道沿いの枯れコナラ2本、枯れた雑木数本を除伐した。

午後からはトンネルを抜け、「カブトムシの森」へ向かう遊歩道沿いの枯れたコナラを3本除伐した。直径40センチぐらいの大木であったが作業は順調に進んだ。しかし、最後に除伐したコナラがベンチの上に倒れ、ベンチの片側が沈んでしまうというハプニングが起こってしまった。時間がないのでベンチを元に戻す作業は次に回すことにした。



1月18日（木曜日）



「シイタケの菌打ち体験」の準備・モリメイト会議

【参加者：池本、梶川、河野、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、野口、山本、吉田、鈴木明 11名】



3月並みの暖かい1日で、河野さんが新しくモリメイトに加わり、11名の活気ある作業となった。

2月4日に行われる「シイタケの菌打ち体験」の準備を行った。

初めに、1メートルの長さの切っておいたコナラのホダ木を2本一組にして紐で縛り30組、菌駒60個を一つの袋に詰め30袋を用意した。次に、ホダ木に付ける名札（参加者用15、モリメイト用10）に白のペンキを塗り、菌打ちをした年2018をペンキで書いて乾かした。最後に、ドリルや菌打ち台などの道具の点検を行ない準備を終えた。

モリメイト会議で、シイタケの収穫に来られない人がいるという話が出たので

- ★ シイタケの菌打ちを楽しんだ後は、家に持ち帰り、その後の世話やシイタケが出てくる様子を楽しんでほしい。
 - ★ 家の事情などでシイタケランドに置いておく人は、シイタケの出る時期だけでも様子を見に来て収穫してほしい。
 - ★ 長い間、収穫されないままのシイタケは、森林公園の方で干しシイタケなどにして利用させてもらう。
- を当日菌打ちの前に話すことにした。



1月25日（木曜日）シイタケのホダ木立てを作る・

ベンチの修理・枯れマツ枯れコナラの除伐

【参加者：池本、梶川、芝田香、鈴木哲、中、山本、鈴木明 計7名】



初めに、「シイタケの菌打ち体験」に向けてシイタケランドの腐っているホダ木を処分し、ホダ木を立てる台（長さ5メートル位）を作った。このことで30本位は立てられるスペースを確保できた。

次に、1月11日に除伐したコナラが落ちて斜めになったベンチを元に戻す作業を行った。50センチほど入った杭の周りを掘り、持ち上げて中に土を入れて踏み固めてのせると、ベンチは真直ぐ元通りになった。最後に、枯れたコナラ、枯れマツの除伐を行い作業は終わった。

